

事務事業評価調書の記載内容

事業名	活動指標と成果指標の合計点による総合評価と今後の方向性を記載している。※1	事業期間	平成	年度～平成	年度	政策区分	
総合評価		事業実施課（室）名				施策区分	
						評価者	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	当該事業がどういう現状・課題を解消するために作られたのかを記載している。	事業の目的	事業の対象をどのような状態にしたいのかを記載している。
-------	--------------------------------------	-------	-----------------------------

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名		活動内容				効率化の取組状況		コスト	25年度	26年度	27(予算)
事業を構成する主な取組を記載している。		事業の活動内容などを記載している。 () 内には、26年度の活動実績(会議の開催数、研修の参加人数等)を記載している。				26年度までの効率化のための取組を記載している。		総コスト	26年度までの決算額及び27年度の当初予算額を記載している。		
								事業費			
								(うち一般財源)			
								人件費	事業に直接従事する者の数を記載している。		
								職員数(人)			

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
			目標値 実績値 達成率	年度毎の目標値、実績値、達成率(実績値/目標値)を記載している。				26年度の達成率の評価について記載している。※2	26年度における取組に対する今後の課題を記載している。
		目標値 実績値 達成率	事業期間の終期を設定していない事業は、最終達成の欄を空欄としている。						

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
			目標値 実績値 達成率	年度毎の目標値、実績値、達成率(実績値/目標値)を記載している。				26年度の達成率の評価について記載している。※3	26年度における取組により得られた事業の成果等を記載している。
		目標値 実績値 達成率	事業期間の終期を設定していない事業は、最終達成の欄を空欄としている。						

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針	現在の事業の展開状況、今後の事業の展開予定、28年度予算編成に向けた課題等を記載している。			

項 目	説 明	判定基準	評価基準	評 価
※1 総合評価	活動指標と成果指標の合計点による総合評価	活動指標の点数+ 成果指標の点数	6点（終了or継続・見直し）	A
			5点（終了or継続・見直し）	B
			4点（終了or継続・見直し）	C
			3点以下（例外的に継続）	D
			3点以下（廃止）	E
※2 活動指標の評価	事業が目標どおり行われているかの評価 ※指標は原則2つとし、評価の点数が分かれる場合は、低い方の点数を採用する。	実績値／目標値	90%以上（目標を概ね達成している）⇒3点	a
			80%以上（目標達成度が不十分である）⇒2点	b
			80%未満（目標達成度が著しく不十分である）⇒1点	c
※活動指標：一定期間に実施された事業（行政により提供された財サービス）の内容や量（結果）を示す。				
※3 成果指標の評価	事業の成果が目標どおり達成されているかの評価	実績値／目標値	90%以上（目標を概ね達成している）⇒3点	a
			80%以上（目標達成度が不十分である）⇒2点	b
			80%未満（目標達成度が著しく不十分である）⇒1点	c
※成果指標：事業の意図する状態にどれだけ近づいたかを表す。				